

2016年(平成28年) 1月号



No. 334

発行: 沖縄県中小企業家同友会
編集: 広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小椋1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、
よい経営環境をめざす」

①同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい



謹賀新年

あお ぐにさくら
正月の碧空に映える紅桜 (写真提供: (株) IT通信 高橋庸正)

本部町八重岳の緋寒桜です。咲いている枝は少なく、満開まではまだ先のような様子。濃いピンクが特徴的です。

新年あけましておめでとうございます。
今年(申年)は西暦数で十二で割ると割り切れる年で、曖昧さがクリアになる年だそうです。
さて、昨年を表す漢字は「安」でした。戦後七十年の節目は、テロの多発に始まり、日米安保の大転換



代表理事 新城恵子

年頭あいさつ 成熟社会に期待される中小企業の役割

異常気象、建築偽装問題、会計粉飾、女性の働き方の改革方針、そして年末には沖縄で目を覆いたくなるような子供達の貧困問題が明らかになり、幾多のショックと共に年が暮れました。
円安、好調な企業業績、景気の回復指標が示されているのにアチャコチャでショックが頻発し、私達の生活感と、なにやらかけ離れています。どうやら、成熟社会への転換期に越えなければならぬ価値観の相互理解の課題が満載しているようです。

六次ビジョンスタートの今年、同友会活動を通して、自社だけでなく地域に必要な企業として発展できますように共に育ちあう一年でありたいと思います。

小企業こそがかつての日本がそうであったように、職場で若者を職業人に鍛えるだけでなく、「社会人」「大人」へと育ててほしいと提言しています。まずは私達経営者が、不安を安心に変える。経営者の覚悟があるかに尽きますが、いつの時代にも色褪せない「労使見解」が問われます。



代表理事 小渡 玠

年頭あいさつ 同友会理念の実践で力強く前進!

新年明けましておめでとうございます。
県内の景気は観光を中心に好調を維持し、完全失業率も4.2%、更に求人倍率も0.9と大幅に改善されました。しかし建設業界は人材の確保が困難で人件費の上昇や資材の高騰など経営的には引き続き厳しい状況にあります。
沖縄同友会は創立以来

共同求人活動を積極的に「採用と教育」で人材育成に熱心に取り組んできましたが、景気の上昇と共に求人難で、合同企業説明会への学生の参加が年々減少し危機感を感じております。
長年取り組んできた中小企業憲章の国会決議はいまだ実現できていませんが「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。」という認識が国會議員への啓蒙活動を通して浸透してきた感があります。自治体への中小企業振興基本条例制定運動は那覇市、沖縄市、名護市、うるま市、石垣市、そして昨年は宜野湾市と南風原町で制定されました。

同友会理念「国民や地域と共に歩む中小企業」の実践によって沖縄の経済を牽引し、新しい産業を創造する経済団体として力強く前進していきたいと思っております。そのためにも積極的な仲間づくりで第五次ビジョン最終年度の目標である一二五〇会員を是非達成しましょう。本年もよろしくお願いたします。



第26回経営研究集会 & 2015年全国共同求人交流会 in 沖縄

若者が育つ魅力ある企業と地域づくり

—「人を生かす経営」の源流をたどる



開会セレモニーの様子 挨拶する小暮恭一 中同協共同求人委員長

「若者が育つ魅力ある企業と地域づくり」『人を活かす経営』の源流をたどる。戦後七〇年、沖縄で学ぶ『命どう宝（人間尊重）』を経営に！をメインテーマに、第二十六回経営研究集会&全国共同求人交流会in沖縄が十一月二十六日〜二十七日、ホテル日航那覇グランドキャッスルにて三二五名の参加で開催されました。

開会に先立ち、ウエルカムコンサートが行われ、海勢頭豊さんが「さとうきび」「月桃の花」などを熱唱。その後、新城恵子沖縄同友会代表理事が、沖縄開催の意義を語り「人を生かす経営の学びを深めていきましよう」と歓迎の挨拶を述べました。

主催者挨拶では、小暮恭一 中同協共同求人委員長から「沖縄の地で何かを学び得て、実践し、私たちの成

長が学びの証になります」とありました。引き続き宮城夫夫 夫夫労働部産業雇用統計官から来賓挨拶がありました。

特別報告では、沖縄同友会顧問の宮城初枝池田苑常務理事が、戦後七〇年の節目にあたり「平和」のなかでこそ企業経営ができること。サンフランシスコ平和条約で日本から切り離された歴史や沖縄における基地の現状と、現在の経済発展

について語りました。現在八五歳だが、経営には年齢や性別は問題ではないと、現在もがんと闘いながら毎日職員と仕事するのが楽しいと話されました。

引き続き基調講演では、大東文化大学学長の太田政男氏が「若者の中の世界、世界の中の若者、無限の可能性を導くために」の演題で講演されました。

その後、六つの分科会に分かれそれぞれのテーマで学びを深めました。懇親会には、大学・専門学校の方を中心に多くの来賓にお越しいただきました。代表して沖縄県大学就職指導研究協議会会長で沖縄大学学生部長の山城寛氏と沖縄県専修学校各種学校協会会長の稲垣純一氏に挨拶いただきました。

二日目は「若者が育つ魅力ある企業と地域づくり」源流より広がった各地の活動に学ぶをテーマに問題提起・パネルディスカッションが開催されました。最初に小暮恭一共同求人委員長より求人活動は「倫理憲章」のもと行われていたが、一部で実質守られておらず、八月開始と信じていた真面目な学生が馬鹿を見た年になってしまった。来年は六月開始となり、学生も活動しやすくなるのではと語りました。

また、この三年間来場学生数が年々減り、内定辞退も例年より多く感じます。合同企業説明会に参加しない学生も増え、学生に寄り添う開催内容を検討すべき時期だと促しました。

同友会では、地域に若者を残すという言葉がクロー

大東文化大学学長の太田政男氏が「若者の中の世界、世界の中の若者、無限の可能性を導くために」の演題で基調講演がありました。

「♪あなたの人生がかげがえのないようにあなたの知らない人生もまたかけがえがない。人を愛するということは知らない人生を知ることだと♪」

太田氏は冒頭、灰谷健次郎氏原作の演劇「太陽の子」の劇中歌から講演を始めました。二十一世紀が若者の時代と言われる一方、社会的ひきこもりが三百万人と推定される現状について解説し、「若者」青年期とは、哲学や小説に著されるような困難な時期である。急激に外の世界が広がる一方で自己を見つめ万端感と自己卑下の両極を揺れ動きながら、自尊心と他者・世界への信頼を獲得するのが課題である。

現代の日本ほど若者にとつて厳しい時代はなく、学校では評価と比較、市場原理が至上とされ、自己責任論に囲まれた社会として地域に向き合っているか」と投げかけました。

共同求人単なる採用ではなく社会教育活動であり、「教える人の人格が問われている」と太田氏の言葉を引用し、「我々経営者が人間性を高めていくこと。また共同求人では会社が変わったといえる企業を増やしていくましよう」と呼びかけ閉会しました。



特別報告する宮城初枝顧問

最後に二日間のまとめとして、佐藤全氏（株）ヴィ・クルー社長・中同協）が「三つの視点から」とした上で、「今の若者をかけがえのない一つの命として見ているか、企業づくりでは社員一人一人が夢と使命感を持って経営をしているか、企業づくりでは、自らが主体者

結果として、社会的に作り出される」と強調しました。さらに内閣府の調査を基に、日本の若者が他国と比べて自己肯定感、自分や社会への信頼が低いことを例に挙げ、その原因が社会的承

「最終的に人は人格を通して学ぶ、大学では恩師、会社では経営者と先輩、共に若者の無限の可能性を導く者として努力しましょう」と参加者へエールを送りました。

最後は、中島みゆきの『誕生』（♪一人でも生きられるけど、誰かとならば人生ははるかに違う♪）を会場いっばいに流しながら講演会が終了しました。（ハタワークス・大城朝野

で自尊心、他者・社会への信頼を育むというより削いでいる。その上で、社会的ひきこもりは、病気や性格でひきこもるのではなく

認の欠如からくるものだと解説しました。

太田氏は、若者が育つために必要な三つのキーワードとして、①自己肯定感②共同性③公共性を挙げ、①自己肯定感とは承認されることで育まれる、②仲間なしに自尊心は育たない、③「みんな」という感覚を育てる、などと説き、「大学、社会、そして企業経営においても同じで若者に出番を作る」と話し、大学の学生支援センターで行っている学生による地域おこしや街づくりの取り組みについて事例を紹介しました。

2015年全国共同求人交流会 in 沖縄

基調講演

「若者の中の世界、世界の中の若者」

～無限の可能性を導くために～

大東文化大学 学長 太田 政男 氏



沖縄県中小企業家同友会

同友会大学第8期「大学院」

専攻学「沖縄から見える歴史風景 ～琉球・沖縄史から何を学ぶのか～」（全5講）

講師：沖縄大学 客員教授 新城俊昭 氏

（日程）（土曜日の午後1時30分～4時）

入学式 2月13日（土） 午後1時～1時30分

第1講 2月13日（土） 先史時代 ～沖縄人はどこから来たのか～

第2講 2月20日（土） 古琉球 ～「琉球国」はどのようにして誕生したのか～

第3講 2月27日（土） 近世琉球 ～薩摩の侵襲で琉球はどう変わったのか～

第4講 3月19日（土） 近代沖縄 ～「琉球国」がどのようにして日本になったのか～

第5講 3月26日（土） 現代沖縄 ～戦後沖縄の課題にどう取り組むべきか～

※会場は、沖縄産業支援センター3F「会議室」の予定です。

【募集要項】

○受講料 20,000円

○受講資格 同友会大学卒業生と同友会会員

○募集定員 15名（定員になり次第締め切ります）



第4分科会の様子

五十一名が参加した第4分科会。まず印象的なのは報告者の伊志嶺さん、還暦を迎えたというのにお肌につやがあり目がイキイキしていること。決められた時間内での話しでも、ご苦労やバイタリティを充分感じましたが、また機会があればもつともとお話を伺いたいと思いました。先輩の前を向いて実践している姿は、これからの勇気と希望に繋がります。

最盛期では年商三十億円と伸ばし、法の改正により苦境に陥ったり、思い切っ

第4分科会 地域づくり

「今帰仁村あいあいファーム奮闘記」

～農業の6次産業化と食育・モノづくりを通して地域の活性化に貢献する～

（株）アメニティ 代表取締役 伊志嶺勲氏（沖縄）



伊志嶺勲氏

た業態の変更など、決して平らな道を歩いてはいけません。また、あいあいファームは伊志嶺氏が今帰仁村村長に直談判をし、苦勞の末の資金調達などを乗り越えスタートしました。

自給率の低い日本、そして沖縄では大きな意味を持つ取り組みだと感じます。

これまでの飲食業の経験や経緯から「食の安全」や「健康野菜」に視点が移っていき「土作り」から取り組みを始めたといえます。

これからのビジョンとして、①6次産業の成功事例になる②廃校活用による健康な社会作り③成功事例になるという三つあります。

この事業の成功は、社会への貢献とも言えますが6次産業への挑戦でもあり、大きな事例ともなります。

教育分野・観光産業分野・農業分野とどう連携するかによって可能性が広がり、沖縄に大きく貢献する事例となるでしょう。この可能性を考えると明るい未来を垣間見ることができてワクワクしてきます。

校舎をリフォームした宿泊施設や研修室もあるので、同友会でも会員企業も研修や体験学習などにどんどん利用していけると良いと思います。

（副室長―沖縄子育て良品（株）野添かおり）



グループ討論の様子

第六分科会では障害者雇用をテーマに（株）沖縄教育出版を訪問しました。

メイン会場から移動の車内で、川畑会長から会社の事業内容や歴史についてお話をいただきました。

コールセンター中心の本社と、障害者が多数働いている配送センターの二カ所を見学し、社員の蜂谷さんと荏司さんから説明を頂きました。

「人から出発する企業」をめざしてきた共栄工業（株）の佐藤総一社長が報告されました。

二〇〇一年三月に富山全研での記念講演で、電源専門メーカー・コーセル（株）代表取締役社長 館久晴氏（当時五十九歳）の言葉で決意をあらたにします。

「経営を透明に出来ないのは・・・経営者に勇気がないから！自分の会社だと思っているから」「経営者が夢を語り、社員と一緒に問題の無い企業などこの世にない」「人がやっていることだから完璧にやれるわけがない」「問題はあっても当たり前なんだと相互に認識し合うことが大切」「問題点が見えるから改善の手が

単なる障害者雇用ではなく、ベテランの社員が若手を指導する、普通の職場がそこにありました。「障害者だから」ではなく、社員の特長や個性に合わせた労働環境を会社をあげて取り組むことで見えたものが沢山ある。障害者は真面目な手で手を抜かない。会社の

第6分科会 障害者問題・見学

全員が主役の感動創造企業をめざして

（株）沖縄教育出版 代表取締役会長 川畑保夫氏（沖縄）



川畑保夫氏

「人間の究極の幸せは、一つ目は愛されること、二つ目はほめられること、三つ目は人の役に立つこと、四つ目は人に必要とされること、四つ目の四つです。」

そして「愛されること」

海外への社員旅行へも、障害者を含めた全社員が参加したのに驚きました。障害者雇用に限らず、社員を大事にし、労働生産性の向上を常に目指して、様々な施策を行っていました。オフィスの壁に書かれた多くの言葉がとても印象的でした。

「仕事はあるが、人が足りない。」「共同求人に参加しない。」「積極的に直接大いに連絡を取り、面接できるように働きかけを続けてきました。」

採用と育成では、「雇用ミスマッチ対策として一



佐藤総一氏

第5分科会 労使見解レポート

人から出発する企業を目指して

「三位一体活動」の実践で我が社はこう変わった！

共栄工業（株）代表取締役 佐藤総一氏（大分）

組み始めたがすでに遅し、二〇一三年九月まで迷走。その後、改善に取り組みます。ユニフォームの無償支給や社内親睦旅行（全額会社負担）、大分同友会の共育塾への参加（労使一体感の育成）などが、社員には有効だと感じられました。

「人から出発する企業を目指して。」「交通費・宿泊費・日当を支給」も、有効でした。本音としては、「労使見解」を元に経営してきた訳ではなく、同友会で学び模索しながらやってきた結果、今回の報告ができるまでになりましたと、閉めの



第5分科会の様子

か、振り返って自社の職場はどうなのか、単なる障害者雇用の枠を超えて多くの気づきを得ることができ、素晴らしい分科会となりました。もつと多くの皆様に参加して欲しいと、心から思いました。また、機会があればぜひ同社を見学したいものです。

（ワイズプランナーズ（株） 齋藤孝春）



配送センターを見学



オプションツアーでは基地の見学も



2日目パネルディスカッション



懇親会「かんぱ〜い」



ウェルカムコンサートの様子



守礼ネット会は那覇市の観光基本計画について



那覇支部忘年会であいさつする中家輝勝支部長

12月は各支部・部会で、例会や学習会とあわせて忘(望)年会が開催されました。学びと共に交流・懇親も深め、2015年を締めくくり、来年に向けて英気を養いました。



中部支部忘年会で新会員の皆さんが自己紹介



北部支部学習会で報告する新井章仁氏



新会員オリエンテーションの様子(上・下) 新会員オリエンテーションであいさつする小渡代表理事



共同求人学習会では若者の就職の現状について学んだ



みらい21の学習会の様子



共同求人学習会 講師の児美川孝一郎氏



みらい21講師の原田博実氏



うりずん学習会の様子



那覇支部忘年会では大名刺交換会も



那覇支部南地区例会で報告する 下地一則氏



北部支部忘年会



うりずん学習会講師の伊藤慎氏



うりずん学習会講師の家串正美氏



碧の会望年会



若林真也氏を講師にエコま〜る学習会



碧の会望年会で楽しいダンス



那覇支部忘年会での余興のワンシーン

総合リフォーム
 建物塗装工事
 断熱防水工事
 耐震補修工事
 断火塗料塗装工事
 住宅改修工事
 増築工事全般

見積無料
お気軽にご相談下さい

沖縄県知事許可(般-25)第12395号

結塗装 代表者/奥平 定一
 那覇市宇栄原1-11-2(さつきクリニック斜め向かい)
 電話(098)987-1724

株式会社 **リウコム**
 www.ryucom.co.jp

代表取締役社長
石川 真一

〒900-0015
 沖縄県那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル11階
 TEL.(098)867-2584 FAX.(098)867-2583
 E-mail:ishi@ryucom.co.jp

SALVATION LAW OFFICE

サルヴェイション法律事務所
 弁護士 照屋 一人

〒902-0065 那覇市壺屋1-18-1 メゾンドあかが〜ら1F
 TEL 098-917-2495 FAX 098-917-2496

LAW IS OUR SALVATION.

謹賀新年 (順不同)

未来をひらく 沖縄近海の海底資源 「驚嘆に値する発見」

沖縄近海の海底資源

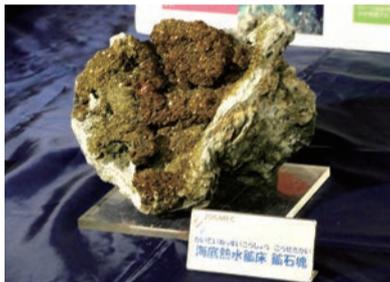
日本は資源小国と言われてきました。1970年代までに多くの鉱山が閉鎖され、現在は銅や亜鉛、金、銀などの多くを海外からの輸入に頼っています。海外でも地上の高品質の銅鉱山は既にあらかた掘り尽くされ、現在の主流は海拔4000m以上の高地にまで道路を敷設し、平均含有率0.4%の鉱石を掘り出しているそうです。

近年、沖縄県近海に世界有数の海底資源「海底熱水鉱床」が眠っていることがわかってきました。政府は、「海洋基本計画」で「平成30年代後半以降に民間企業が参画する商業化を目指す」とし、資源量の把握や採鉱・揚鉱に係る技術開発、環境影響評価手法の開発等を進めています。あとわずか10年後に向けての計画です。

しかしながら、沖縄県行政や県内企業にはほとんど情報がなく、関与できていませんでした。そこで私たちは6年前、沖縄海底資源研究会を立ち上げ、独自に情報収集や分析、提言を行ってきました。そして昨年5月、より積極的、能動的に活動していくため、一般社団法人沖縄海底資源産業開発機構（略称：OSR）に法人化、組織変更を行いました。



国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の持つ地球深部探査船「ちきゅう」



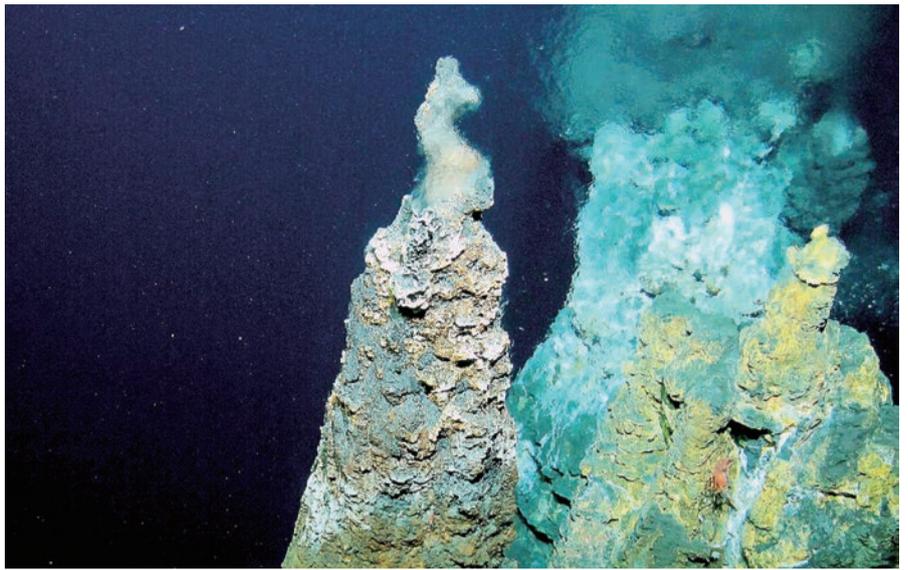
久米島沖チムニーから持ち帰った鉱石サンプル

勉強会やセミナーを催しながら、11月には「未来をひらく海底資源シンポジウム2015」を開催し、最新情報の提供と今後の取組の方向について議論することができました。

久米島沖チムニーの優位性

私達の住む沖縄県の西側、沖縄トラフと呼ばれる場所は、他に比べ地殻が薄くなっているところがあり、海底にしみ込み、マグマに熱せられ地中の金属元素を溶かし込んだ海水が、再び海底に吹き出しやすくなっています。その際に深海底の低温海水で急速に冷却され、溶け込んでいた金や銀、銅や鉛、亜鉛、希少金属等が固まり沈殿します。その際、まるで煙突のように金属鉱床が形成されていくのでチムニーと呼ばれます。

昨年1月末に発表された久米島沖のチムニーは、これまで見つかった



久米島沖チムニー。自律型無人潜水機 (AUV)「ごんどう」にちなみ、「ごんどうサイト」と仮称がつけられています (写真はJOGMEC提供)

チムニーに比べ、銅の含有率が極めて高いのが特徴です。鉱石の品質の善し悪し（含有率：鉱石にどれくらい有用物質が含まれているか）は「品位」という言葉で表します。久米島沖チムニーの銅含有率はなんと平均13%。研究者からも「見たことがない高品位の鉱物で、驚嘆に値する発見だ」と評価されています。

沖縄に新たな産業群が興る可能性

残念なことに、沖縄県の技術力は現在あまり高い水準にあるとはいえ、若い技術者や研究者は、海外をはじめ県外に流出し、県民所得は低く失業率が高い状態で、抜本的な解決法は今のところ見当たらないと言われています。

私はこの課題に対して、海底資源開発の「探査・調査、掘削、揚鉱、選鉱、製錬」という一連の工程を沖縄で行うことで、産出される金属やレアメタルを材料とした産業群が、新たに沖縄に勃興する道を切り開けるのではないかと期待しています。資源も地産地消で、さらには輸出もできるかも知れません。

もちろん、超えなければならぬハードルはたくさんあります。例えば主力産業の観光業に与える影響、漁業に与える影響、環境への影響、採算性、ファイナンス、法整備、県民への利益の直接・間接的還元など。すぐには答えが出ないかもしれませんが、皆の叡智を結集できればと考えています。

沖縄県や日本の将来にとって大きな影響を与えることになるプロジェクトが目の前で展開されています。ぜひ関心をお寄せください。OSR ホームページ <http://www.osr.or.jp/> (高橋庸正 一般社団法人沖縄海底資源産業開発機構理事、IT通信株式会社社長)

近年、注目を集める沖縄の海底資源について寄稿いただきました。

トラストコミュニケーション株式会社
http://www.tcom.co.jp

〒905-2172 沖縄県名護市字豊原224-3
名護市マルメディア館2F
tel: 0980-50-0140
fax: 0980-50-0141
mobile: 080-3000-7101
mail: matsuda@tcom.co.jp

代表取締役社長
Yutaka Matsuda
松田 穰

株式会社 おきぎんエスピーオー
代表取締役社長 與儀幸朋

宜野湾市真志喜1丁目13番16号
TEL098-917-0612 Fax098-917-0662

- システムソリューション ●ネットワーク構築
- コンピュータ機器販売 ●代金回収サービス

絶え間なく変化するお客様のニーズに応えられる
ノウハウ集団として世界に羽ばたくミライ企業を目指す

株式会社 okicom

代表取締役 小渡 玠
〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山1-17-1
TEL: 098-898-5335 FAX: 098-870-2088

沖縄コンピュータ販売株式会社は2015年4月、社名を変更いたしました。

新光産業(株)
代表取締役 新里正雄

〒900-0036 沖縄県那覇市西3-13-57
(電話) : 098-868-5121 (FAX) : 098-863-5992
2016年7月1日「南営業所」開設予定です!!

USHIBAN photo office + studio
フォトグラファー 丑番直子

写真撮影のプロフェッショナル

〒900-0036 沖縄県那覇市西1-15-10 1階
Mobile: 090-2853-0907 TEL/FAX: 050-1443-9247
E-Mail: ushiban_photo@ybb.ne.jp
APA 公益社団法人日本広告写真家協会 正会員

レキオファーマ株式会社
LEQUIO PHARMA

代表取締役社長
奥 キ ヌ 子

株式会社 コンピュータ沖縄
http://www.c-okinawa.co.jp
E-mail: nago@c-okinawa.co.jp

代表取締役 名護 宏雄

営業本部/〒901-2132 浦添市伊祖4-8-2 サンライズビル1F
☎ 098-879-8433 FAX 879-8435
本 社/〒904-2234 うるま市字州崎7番地?
☎ 098-938-7270 FAX 938-9959
携帯電話 090-3017-3089

有限会社 大宮工機
赤土対策・濁水処理事業
建設機械レンタル

専務取締役 宮城 光秀

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平631番地
電 話 (098) 889-6166 URL <http://www.omiyakouki.com>

沖縄県内最速の木曜発行

求人情報誌 **ジエウォーク** スマホ PC 携帯

代表取締役 佐和田安行
☎(公社) 全国求人情報協会正会員

【本社】 ☎098-869-3524(代) 【中部営業所】 ☎098-923-1991
〒900-0002 那覇市曙1-16-7 〒904-0032 沖縄市諸見里3-24-1(2F)

謹んで新年のお慶びと申しあげます (順不同)